



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和5年 2月号

神奈川県立相模原中央支援学校

「節分」～春はすぐそこまで～

2月3日は節分でした。日本では、昔から季節の変わり目には病気になりやすく、病魔や悪鬼が横行すると思われてきました。それを追い払う行事として「豆まき」が行われるようになりました。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症も追い払いたいものです。

また、先日「体罰・虐待等の相談窓口について」のお知らせを配付いたしました。学校以外にも相談窓口がありますので、担任や学校への相談が難しい場合は御利用ください。



さて、学校では幼稚部の入学選抜や小中学部の体験入学が行われ、はじめは緊張が見られたお子さんも、自分らしさを覗かせる場面もありました。まだまだ朝晩の冷え込みが厳しく空気も冷たいですが、確実に春は近くまで来ていますね。友達や先生と一緒に、春を探してみましょう!!

教頭 榎本

小学部 知的部門 1・2年生遠足

11月25日(金)よい天気にも恵まれた中、小学部知的部門1年生・2年生遠足で麻溝公園へ行ってきました。

1年生は入学して初めての校外行事でしたが、ポニー乗馬や小動物とのふれあいコーナーでの活動を楽しみました。小動物とのふれあいコーナーでは、近くで見る動物に少しドキドキな表情を見せていた子どもたちでしたが、慣れてくると優しくモルモットをなでたりうさぎや羊を興味津々な様子で眺めたりして楽しんでいました。

2年生は動物広場見学・遊具広場での遊具遊びを楽しみました。動物広場では飼育員さんに動物たちの生態や特徴を教えてもらい、子どもたちは興味津々で動物を覗き込んでいました。遊具広場ではすべり台やトランポリン、ネットでできたツリーで遊びました。ツリーでは上まで登ったり寝転んでくつろいだり、トランポリンのように揺らして楽しんだり、思い思いの遊び方で楽しんでいました。

学校へ戻ってきてからは、1・2年生はウッドデッキでレジャーシートを広げて美味しいお弁当を食べて、大満足の子どもたちでした。

3学期は肢体部門1年生・2年生・4年生の遠足、視覚部門・聴覚部門・知的部門・肢体部門5年生の宿泊学習が予定されています。寒い時期ではありますが、保護者の方の御協力をいただきながら、安全に楽しく行ってきたいと思っております。

小学部 三森